

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	ご利用者が、自由に出掛けられる環境にあり、事故のリスクが高くなっている。	今まで変わらず自由な環境を提供しつつ、事故予防に努める。	①玄関設置のチャイム音の状況確認と、職員間の連携を密に取りながらの、見守りの継続をする。 ②外出前の声掛けの実施し、外出後はGPSを活用しつつ、早めのお迎えに 向かう。	12ヶ月
2		認知症の進行と高齢化に伴い、より個々の心身状態や所持能力の把握が重要になっている。	ご家族に現状を理解して頂き、協力を仰ぎながら日々の快適な生活を提供する。	面会に来られた際に、近況報告やご本人にとって必要な介護用品の購入や地域リハビリテーションへの相談をし、連携を図れるように努める。また、月1回ご家族に送る連絡表にて、心身の変化等をお伝えする。	12ヶ月
3	2	地域に於いて、併設されている「特別養護老人ホーム 寿荘」は、馴染みがあるが、「グループホーム真愛の家 恵の里」の知名度が低い。	地域に於いての「グループホーム真愛の家 恵の里」単体の知名度を上げ、認知症の方への理解を深めて頂く。	①年間2～3回の事業所の広報誌を作成し、近隣に回覧してもらう。また、その際に、ボランティアを募る。 ②近隣の行事のお知らせと参加を呼び掛ける。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。